議会報告会　会場報告書

担当班：1 班　　班代表者：　　渡辺　拓道

概要			
地区名　：村雲地区 日時　　：令和 4 年 5 月 31 日（火） 19：30～：21：30 場所　　：ハートピアセンター 参加人数：11 人(男 9 人・女 2 人)	【出席議員】 渡辺拓道 前田えり子 大西基雄 原田豊彦 園田依子	（1）開会あいさつ　：渡辺 拓道 （2）議会報告　　：DVD 参照 （3）質疑応答　　：下記参照 （4）意見・提言等　：下記参照 （5）閉会あいさつ　：園田 依子	挨拶・総括　　：渡辺 拓道 司会進行　　：前田えり子 報告　　：大西 基雄 記録　　：原田 豊彦 会場（マイク）　：園田 依子

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・①7 月 10 日に四季の森生涯学習センターでイベントを企画している。昨年は田園交響ホールでやったが、チケットは会場で販売できた。四季の森ではなぜ販売できないのだろう。 ②日置ステーション（地域ラボ）のパン屋さんが店を閉めた。	①中央公民館では、どの事業においてもチケット販売は行っていませんが、頂いたご意見については議会内で共有させていただきます。 ②任期終了後は、できれば日置の近くで継続して営業されたかったようですが、良い物件が見つからず、現在は西紀地区の施設で営業されています。日置ステーションはチャレンジシ

音楽活動にも貢献し人気だった。2 年の契約が満了と聞いたが、事業主や顧客、地域の為にも継続させるべきではないか。	ョップとして国の補助金でできている為、永続して使用できるような施設ではありません。
・地域医療の問題、市内の 2 病院を市営で…みたいな話があるが、慎重に対応して欲しい。調査や検討内容も市民に知らせて欲しい。	・民政福祉常任委員会でも検討内容を確認したいと申し入れていますが、まだはっきりした進捗や経過が出ていないようです。市民が安心して暮らせるような医療体制構築のためにできる限り情報公開していきたいと思っています。
・①議員定数が 18 人になった理由 ・②市内 3 高校の活性化について現状を ・③男女共同参画プランの実情 以上 3 点について説明をしてほしい。	・①本市議会は委員会中心主義をとっているので、委員会審議が充実するよう配慮したものです。市財政も健全化の目途がたち、市民の代表として多様な地域から多様な人材が必要と判断して、議会の充実を優先に決めさせていただきました。 ・②高校は設置者が県であり、高校自身が危機感を持って魅力向上に取り組んでもらわないと活性化はできないと考えます。市教育委員会より、まず具体策を構築する為に 1 年間協議したいとの提案があり、議会として承認したものです。動向はきちんと注視していきます。 ・③条例を改正し、「誰もがお互いを尊重し合い、生き生きと輝きながら自分らしく生きるまち、丹波篠山」を基本理念に冊子が全戸配布されました。これからは男女共同参画プラン審議会が立ち上がり、市民センターに「男女共同参画センター」が設置されます。
・子どもが少ない。若い夫婦に来てもらって、子供の声が響く中で生活したい。	・小学校が統合されましたが、その時より児童数が増えているという状況にありますので、とても希望を感じているところです。

・私の自治会は36戸と小さな集落だが子供は多い。移住者が7軒ある。若い人の働く場所が少ないように感じる。賃金は安くても働きやすい職場が良い。	・市内にある企業経営者のほとんどが「働く人がいない」と嘆いており、働く側は「働く場所がない」という意見を聞いています。企業誘致も進めていますが、この複雑なミスマッチの解決に向けて一緒に考えていきたいと思っています。
・若い者は「篠山には何もない」という。都会の華やかさに惹かれているのだろう。若者は見聞を広めてから、その後に篠山に帰って来てほしい。	・いただいたご意見は議会で共有します。
・高齢化は防げないが、働く場所や趣味などおもしろいことがあったら快適に暮らせる。若者がうらやましいと思って篠山に帰りたくなると思う。	・いただいたご意見は議会で共有します。
・私は12年前に来た移住者で、まち協で楽しませてもらっている。この地域の男性は女性に対する考え方が平等で女性が元気だ。それが結果的に移住者にとって居心地の良さに繋がっているのだと思う。自治会長会もフラットで互いの仲の良さも際立っている。	・いただいたご意見は議会で共有します。
・「村雲大家族」が合い言葉。手を繋いで家族になろうと働きかけている。「村雲次世代会議」が花火大会を計画したり、ハーモニカ教室やめだかの会など自主的な同好会や活動グループもでき始めた。最終的にまち協は「地域福祉」と「地域農業」に行き着いたらうれしい。 　過疎債を活用して、旧保健センターを拠点に、地域有償運送や草刈り	・いただいたご意見は議会で共有します。

隊、農業体験ができる宿泊施設やワクワク農村の活動を展開したい。村雲はこれからどんどん良くなると思っている。	